

とうきょう すくわくプログラム活動報告書 1

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2024年9月17日
クラス名(年齢)	すみれ組(2歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

風 (シャボン玉)

<テーマ設定理由>

子どもたちが日ごろの遊びの中で感じる風に、興味関心を深めていくことをねらいとした活動を行った

2. 活動スケジュール

- ・11名 15分
- ・シャボン玉の飛んでいく様子や大きさの違いに気づく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

シャボン玉

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・公園でシャボン玉遊びをする。風に乗って舞い上がる様子や捕まえようとすると逃げていき、捕まえると消えてしまう様子を楽しむ
- ・風の強さ、風向きによってシャボン玉の大きさ、とんでいき方に変化がでることに気づき変化を楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
・「かぜ ぶわーだね」と両手を大きく広げる動作で教えに来る。保育者が「本当だね 風が強いと シャボン玉速く飛んでっちゃうね」と共感し気持ちを代弁していく ・「風が強くて 飛んでいっちゃった」と速いスピードで飛んでいくシャボン玉を追いかけていく「うわぁー風さんやめてよ」「今日は風強いね」といつもより風が強いことに気づき話す ・「今日は風冷たいね ○○ちゃん寒くてブルブルしちゃった」と風の冷たさに気づき話す ・「シャボン玉 あんなところまで 飛んでっちゃった」と上を見上げ話し、川の方まで飛んでいくシャボン玉を見続ける ・「やりたい」とシャボン玉を作っている保育者に話す。渡すと棒を振ってみる。風に乗ってシャボン玉ができる「できた こっちでやってみる」と人がいないところに行き大きく棒を振る「いっぱいできた」振り方によってシャボン玉の出方に変化があることに気づく。保育者がここで止まってみてと風に向かって棒を止めることを提案すると試してみる。棒を振らなくてもたくさんのシャボン玉ができることに驚き「かぜさんすごい」と話しながら遊びを続ける	   

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

風の強弱について話す姿や自分なりの言葉で発見したことを伝えようとする姿があった。また遠くまで飛んでいくシャボン玉が気になりいつまでも見届けると、追いかけて捕まえようとする子、シャボン玉を作りたい子など個々の興味のあることを様々な遊び方で探求していった

風の冷たさに気づき話す子もあり更に風への興味が広がっていった

とうきょう すくわくプログラム活動報告書 2

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2024年10月21日
クラス名(年齢)	すみれ組(2歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

風 (袋でつかまえてみよう)

<テーマ設定理由>

シャボン玉あそびで風に興味を持っていたため、シャボン玉より大きな袋で風を集めながら遊び方を探求していった

3. 活動スケジュール

- ・11名 20分
- ・スーパーの袋にひもをつけ風を集めながら遊ぶ

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ビニール袋 スズランテープ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・広場にて袋にスズランテープを付けて、走ったり風を受けてビニール袋が浮かぶ様子を楽しんだりして、風の強さを感じていく
- ・風が吹いているときに保育者が袋を投げ、それを追いかけて受け取りながら、風によって動くビニール袋の様子を楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
・強い風が吹くたびに、風の強さを感じ、声をあげて楽しんでいた ・風で浮かぶ袋を見て「飛行機みたい」と袋を表現しあがる先を見ていた ・坂道を駆け下りながら袋が浮かぶ様子を確認し、腕をあげたり、走る速度を上げたりして、袋が浮くように試行錯誤していた ・スズランテープ同士が絡まって、2つ3つにくっついた袋をみて、楽しい気持ちになり「なんでよ〜？」と子ども同士で言い合いながら一緒に持った後、保育者に直してもらいに行く ・袋を犬に見立てて「おさんぽいってくるね」と数名で走りながらイメージを共有し遊ぶ。走る速度が落ち、袋が地面に着いていたので「わんちゃん元気ないですよ」と声をかけると「わかった こっちだよおいで」とスピードを上げ走り出す「げんきになった」と嬉しそうに友だちに話しながらまたごっこ遊びを楽しむ	   

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

子どもたちは遊びながら自然にどうすれば風を集められるかがわかり、坂道を使って速度をあげたり、手を高くあげ風を受けやすくしたりするなど学んでいた。また友だちとのやりとりの中で見立て遊びが広がり、イメージを共有しながら上手く風を使って遊びが展開されていた

とうきょう すくわくプログラム活動報告書 3

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2024年11月14日
クラス名(年齢)	すみれ組(2歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

風 (落ち葉であそぶ)

<テーマ設定理由>

前回袋で風を集めた際に風の集め方を工夫しながら遊ぶなど、見立て遊びが広がっていたため、落ち葉を使ってさらに遊びを探索していく

4. 活動スケジュール

- ・5名 15分
- ・落ちてくる落ち葉を追いかけたり、落ち葉をちぎって投げ、落ちたりする様子を楽しみながら見立て遊びを発展させていく

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

落ち葉

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・木々の葉が風で揺れている様子や、落ち葉が舞い落ちる様子に気づく
- ・落ち葉をちぎったり投げたりしながら、風に乗って落ちる様子を楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
・保育者が木々が揺れていることを教えると「風つよいね 葉っぱがゆらゆらしてる」と気づいたことを話す。それを聞いていた子が「本当だ 葉っぱゆらゆらしてる」と手を揺らして表現する。「風さん強すぎ 嫌だよっていってるよ」と木になりきって話す子もありイメージを共有しながら会話を楽しむ ・揺れている木から葉っぱが舞い落ちていることに気づき「えいっ」と捕まえようとしたり、当たらないように逃げたりして遊び始める ・一人の子が落ち葉をちぎってあそんでいると、他の子も真似をし始める。ちぎったものを投げて「たんじょうびおめでとう」と紙吹雪やクラッカーに見立てて遊びが始まる。数名集まってみんなで投げてみる。量が増えるとより楽しくなり「みんなでやってみよう」「せーの」と声をかける子がでてくる。保育者が「大きな葉っぱはどうか？」とちぎらず投げてみると「大きすぎ こっちの方がひらひらしてきれいだよ」とちぎった葉っぱを投げて見せてくれる	   

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

自然物を通して風を感じながら、言葉やジェスチャーで保育者や友だちに伝えようとする姿があった。表現方法は様々でそこから想像を膨らませ遊びに発展していた。落ち葉を投げてみる遊びはよくやっていたが、今回いろいろな大きさを試すことで違いに気づき、子どもたちから「これはどう?」「こうしてみよう」と提案しながら遊ぶ姿がみられた

とうきょう すくわくプログラム活動報告書 4

園名	キッズガーデンかわせみ
日時	2024年12月10日
クラス名(年齢)	すみれ組(2歳児)

1. 活動テーマ

<テーマ>

風（風車であそんでみよう）

<テーマ設定理由>

風を使っの遊びの中で友だちと探求していく姿が見られたため、道具を使って遊べるようにした。風の吹く方向、強弱の違いに気付く

5. 活動スケジュール

10名 20分

- ・風車で遊びながら風を感じる

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

風車

4. 探究活動の実践

<活動内容>

- ・風車を使ってよく回る場所や向きを探してみる
- ・風車の回る様子を友だちと一緒に楽しむ

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの姿・声	写真
・風車に息を吹きかけながら、『まわった！ねえ、見て！まわったよ！』と喜ぶ声が沢山聞こえる ・周りの子が上手に回す中で、上手く息を吹けない子は、風車を見つめたり向きを変えたり、手で回したりなど試行錯誤を行う ・保育者も手伝い一緒に「フー！フー！」と息を吹いてみたり、息が当たりやすいよう風車の向きを変えてみたりすると、回り始め、その様子をびっくりした様子で見つめていた。繰り返し回るようになると嬉しそうな笑顔がみられた ・息をかけるだけでなく、手に持ち回るように歩いて風を見つけ角度を工夫しながら回し続ける様子があった。その様子を他児にも伝えと、どうやら回せられるのか、みんなで考え真似をして試すことに展開していた。友だちの様子を見て「すごいねえ」「いっぱい回ってるね」など嬉しそうに教えてくれる姿も見られた	

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

- ・風車をはじめて触る子が多く、色とりどりの風車に興味を持ち、やってみたい、回してみたいと、興味津々だった
- ・子ども同士の関わりが増えてきたことで身近な友だちの様子を見て真似をしたい気持ちが強くなっていた
- ・手を挙げてみることだけ伝えた中でも、子ども自身で考え風車の持つ向きを変えたり振ってみたりと様々な動きを子ども自身で考え行動に移していた

